

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



## 9月のアルミ概況及び10月の見通し (3)

## 予想レンジ

LME現物後場買い	2,400~2,700ドル	☀
スクラップ	+10~+20円	☀
為替	140~150円	円高
(1か月間TTM)		

## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると8月の自動車生産台数は前年比+0.8%の51万3,187台。

輸出は前年同月比-17.6%の27万6,842台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると9月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-2.4%の27万4,378台。

## 【住宅着工戸数】

8月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比5.1%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.5%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は66,819戸。前年同月比5.1%減、4か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は5,039千㎡。前年同月比8.9%減、4か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では777千戸。前月比0.5%増、2か月連続の増加。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.1%の11万6,567tでマイナスに反転。

板類は7万2,969tの-3%で5カ月ぶりマイナス。

押出類は4万3,598tの-10.9%でマイナスに反転。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+4%の5万5,182tでマイナスに反転。

出荷は+8%の5万3,212tでマイナスに反転。

## 【輸出】

新地金は-48.2%の171t。

二次合金は+94%の1,635t。

スクラップは-34.1%の2万2,182t。

アルミ缶は+65.3%の7,112t。

## 【輸入】

新地金は-10.1%の8万5,991t。

二次合金は+3.1%の9万895t。

スクラップは+0.8%の716t。

合金スクラップは+38.2%の7,990t。

## 【見通し】

## 【自動車】

8月の自動車生産が+0.8%。9月国内販売台数が前年比-2.4%。販売が再び減少、生産は2カ月増加。ここ数カ月増加減少を繰り返しておりコロナ挽回生産の目はなくこの水準での落ち着く。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.1%の11万6,567tでマイナスに反転。

## 【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+4%の5万5,182tでマイナスに反転。

出荷は+8%の5万3,212tでマイナスに反転。中国の景気後退を受けて。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫はLME価格が2,390から2,600ドル台と上昇だったことから出荷し在庫薄。需要面に関しては先月の相場低迷による持ち込み量の減少から在庫薄。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

## ①中国の景気動向

預金準備率の引き下げや不動産市場に安定化を図る支援策を打ち出すなど一連の景気刺激策が中国経済を支える可能性が高いのではないかと。

## ②米FRBの金融政策

予想通り9月のFOMCで0.5ポイントの利下げを行った。その後、パウエルFRB議長は9月30日、米経済が堅調な足取りを維持していることから金利引き下げは「時間とともに」進むと発言。利下げはほぼ織り込み済みだが問題はその幅、雇用統計やイスラエル問題が台頭しているため利下げ幅縮小か？

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,400-2,700ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+10から+20円程度と予想している。

(「9月のアルミ概況及び10月の見通し」おわり)

非鉄金属全般・金属リサイクル  
新棒コ口・砲金・銅滓

## 株式会社 高田商店

代表取締役 高田晋善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

TEL06-6753-1643 Fax06-6753-4545